

事務事業名	(H24拡充)北沢駒仙小屋改修事業		所属部局	農林商工部	単位番号	2011- 6261				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	観光商工課	課長名	朽原伸幸				
			所属担当		担当者名	三井孝司				
基本政策	基本計画	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 07	項 01	目 03	細目 060	細々目 14
政策	09	地域資源を活かした観光の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	16	観光基盤の整備								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 23 ~ 24 年度)		法令根拠	なし						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 南アルプス市駒仙小屋は築80年を経過し、老朽化が極端に進んだ山小屋であり、耐震等、建物に必要な強度が確保できていない。また、近年の登山者ニーズの変化に対応できる構造にもない。よって、現在の収容人数と同規模の山小屋を新設し、登山者ニーズの対応及び営業に必要な施設整備を整え、現在老朽化により閉鎖されている冬季避難小屋を建設する事業を行う。			事業費の主な内訳 ( 24年度 決算見込 )						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
						計	0			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績	北沢駒仙小屋の建設	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	25年度活動予定			ア:工務会議の回数	回	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	山岳観光を目的として市内を訪れる観光客		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア:登山者数	人	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	利用者の利便性向上を図り、南アルプスの印象を良くする。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア:南アルプスを訪れ、印象がいいと回答した人の割合	%	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	リピーターの増加		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア:南アルプスに再度訪れた人の割合	%	

年		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地芳債	千円		89,827				
		その他	千円						
		一般財源	千円	8,062	1,420				
		事業費計(A)	千円	8,062	91,247	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2					
	延べ業務時間	時間	80	200					
	人件費計(B)	千円	317	792	0	0	0	0	
	(A)+(B)	千円	8,379	92,039	0	0	0	0	
活動指標	ア:回		8.0	30.0					
対象指標	ア:人								
成果指標	ア:%								
上位成果指標	ア:%								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	築80年を経過し、老朽化が著しい北沢駒仙小屋は、耐震診断により、「倒壊の恐れがある建物」という結果が出ており、最近の利用者のニーズにも対応できなくなってきたことから、過疎地域自立促進計画に則り、新たな山小屋のニーズも変化し、ルートを選択する理由の一つに山小屋の選択があるようになった。今後も、一定のサービスを提供する事が出来る設備を伴った山小屋の要望は更に強くなると思われる。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	利用者のニーズに対応できる施設とするため、慎重に検討を行うように要望がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成23年度からの新規事業である。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	建設検討委員会を組織し、建設に向けた提言をまとめ市長に答申を行った。

事務事業名	(H24拡充)北沢駒仙小屋改修事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス登山において拠点的施設の一つであり、登山者の安全確保、利便性の向上等市の掲げる山岳観光振興施策の一環である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市が所有する山岳施設(山小屋)の建設である 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 当該山小屋は、南アルプスの登山史においても重要な施設の一つであり、今後についても登山者の強い要望にこたえて行く必要がある
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 山小屋建設に特化した事業であり、検討委員会のまとめた提言を基に設計を行っている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 山小屋を利用する登山者からの要望にこたえることが出来ない。山小屋を利用する登山者の利便性の向上及び安全確保が困難となる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 検討委員会のまとめた提言を基に、最低限実施可能な規模で設計を行っている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の人数(担当1名補佐1名)で当該事業にあたっている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 南アルプス最深部を訪れる登山者すべてを対象に行っている事業であり、この事業により特定の個人が受益を被るものではない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	当該事業は南アルプス山岳地域の振興に必要な事業であり、最小の費用で最大の効果を引き出すことができるよう、今後も同様の事業について、検証の材料となりうる。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	成果優先度評価結果  コスト削減優先度評価結果																					